

## 大阪鉄道病院初の 女性診療放射線技師誕生!!



はじめまして。

6月1日に、診療放射線技師として着任しました泉 陽美（きよみ）です。

これまで、北摂地域の病院で医療事務を約2年間経験した後、診療放射線技師として約2年間業務に就き、この度当院で働くことになりました。

当院では女性技師が初めてということもあり、電話対応時「レントゲン泉です。」と言うと必ず「技師さんをお願いします。」と返答されます。その度に心の中で「私も技師です。」と叫んでいる毎日です。ぜひ、この機会に放射線技師の泉を知っていただきたいです。

私は今、主に乳房撮影を担当しています。先輩技師の指導の下、この6月に検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師認定を取得することができました。また私は、医療事務が出来る診療放射線技師を目指しており、来年1月に診療情報管理士の試験に挑戦します。

当院では現在、マンモグラフィ検診施設画像認定の取得を目指して取り組んでおり、微力ながら貢献していくつもりです。



マンモグラフィ

マンモグラフィ検診施設画像認定とは、検診の精度を高め、それを維持するために、撮影装置や実際に撮影された写真、撮影に要したX線の量などを専門機関が審査を行い、検診に必要とされる基準をすべて満たした施設を認定施設とするもので、この認定をうけるということは、マンモグラフィの質の高さが第三者から評価されることとなります。

当院では、毎日継続して、撮影装置等の精度管理や撮影技術の向上に努めています。

最後になりましたが、放射線室の一員として画像診断センターの今後の進化に貢献できればと思っています。宜しくお願いいたします。

# 最近の放射線室のご紹介

## 放射線室 秋山 益光

当院放射線室は現在スタッフが11名、稼動している装置は計17台となっています。装置の内訳は一般撮影装置4台、骨密度検査装置1台、マンモグラフィ専用撮影装置1台、TV透視撮影装置3台、ヘリカルCT1台、1.5テスラ



MRI1台、循環器専用透視撮影装置1台、CT搭載型多目的血管撮影システム1台、核医学用体外計測装置（γカメラ）1台、放射線治療装置（リニアック）1台等です。

放射線室の活動としてこの4年間は、業務の深度化を図るため「専門性の確立」に重点

を置いてまいりました。今年からは「専門性と汎用性の両立」をスローガンに各技師が多くの放射線検査に対応できるよう各自新しい分野に挑戦しているところです。

また「各種プロジェクトの推進」をテーマに様々なプロジェクトを企画、実施しています。特にマンモグラフィ検診施設画像認定を受けるため、検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師認定の取得者を輩出し、マンモ専用撮影装置の設置、日常および定期的な精度管理を認定技師が行っています。今秋には、ピンクリボン活動の一環であるJ.M.S（ジャパン・マンモグラフィーサンデー：子育て、仕事など平日が多忙な女性のために、年に一度、日曜日に全国どこでもマンモグラフィー検査を受診出来る環境づくりへの取り組み）に当院として初めて参加することになり、その日に向けて準備しています。



## IVR-CT

加えて、本年6月には放射線室初の女性技師を採用しました。入社後直ぐに検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師認定を取得し、今後の活躍に大いに期待しているところです。



放射線装置の更新については、本年6月に従来の血管造影透視撮影装置を更新し、CT搭載型多目的血管撮影システムを導入いたしました。これは肝がん治療に必要な最高水準の医療機器である64列CTとフラットパネルアンギオ装置を組み合わせた自走式IVR-CTシステムです。この装置の導入に伴い、より安全に全症例のCTA、CTAPによる小肝がんの有無の確認とsubsegmental TACE（超選択的動脈塞栓治療）が容易かつ瞬時に行えます。患者さんの肝機能温存とピンポイントでの肝がん治療が両立して可能になり、RFA治療とあいまって肝臓の治療成績の向上に大いに貢献することが期待できます。

その他にも強度変調放射線治療装置、TV透視撮影装置、多列型CT装置の導入を目指して、各種装置の性能調査および装置対応のための準備をしています。

放射線室は画像診断に対し、高品質な画像情報を提供していくことを基本とし、患者さんに優しく安全な検査、治療となるよう努力していきます。また



また原発事故から国民の間に関心が高まってきた放射線被曝についても、放射線検査の適正化と防護の最適化に努めます。今後とも放射線室をよろしくお願い致します。

## MRI

## 健康講座 開催のご案内

**10月** 日 時 平成24年10月23日 (火)  
場 所 大阪鉄道病院 講堂 (3階)  
講 師 大阪鉄道病院  
糖尿病・代謝内科 大西 正芳  
内 容 糖尿病の現状とその取り組み

**11月** 日 時 平成24年11月27日 (火)  
場 所 大阪鉄道病院 講堂 (3階)  
講 師 大阪鉄道病院 薬剤部  
内 容 未定

**12月** 日 時 平成24年12月25日 (火)  
場 所 大阪鉄道病院 講堂 (3階)  
講 師 大阪鉄道病院 血液内科  
内 容 未定

★定員60名・無料

★予約は不要です

どなた様も、ご自由にお越し下さい。



## 健康レシピ 万能きのこだれ

まだまだ残暑厳しい9月ですが、夏の疲れを引きずっていませんか？

食欲の秋。旬の食材をたっぷり楽しみましょう！

秋といえばきのこ。きのこはビタミンDと食物繊維をたくさん含む低カロリー食品です。今回ご紹介するのは、旬のきのこを使った万能ダレのレシピです。

一緒に肉を炒めたり、焼き魚にかけたり、野菜を和えるなど使い方は様々。

うまみと食感のハーモニーを楽しみましょう。

**\*季節の一品 きのこだれ\***

**<万能きのこだれ>2人分**

- ①きのこの種類はいろいろ合わせて500g。石づきをとって粗く刻む。
- ②耐熱容器に入れて、軽くラップをし、電子レンジ500Wで5分加熱する。
- ③長ネギのみじん切り1/2本分と赤唐辛子の小口切り1本分、塩小さじ1、ごま油大さじ2を加えて軽く混ぜ、1時間以上おく。

(8Kcal 塩分0.3g)

## 大阪鉄道病院の花ごよみ

大阪鉄道病院の植栽の中から季節にちなんだ植物を紹介していくシリーズの第2回目は、秋の花の代表「キンモクセイ」です。

キンモクセイは漢字で金木犀と書き、モクセイ科モクセイ属の常緑小高木樹で、ギンモクセイの変種です。中国南部が原産で江戸時代に渡来しました。一般には桂化の名前で呼ばれることがあります。

秋になると小さいオレンジ色の花を無数に咲かせ、芳香を放ちます。花冠は白ワインにつけたり(桂花陳酒)、茶に混ぜて桂花茶と呼ばれる花茶にしたり、蜜煮にして桂花醬と呼ばれる香味料に仕立てたりします。

キンモクセイの花は甘めでしっかりした強い香りであることから、日本において汲み取り式トイレが主流で悪臭を発生するものが多かった時期には、その近くに植えられることもありました。その要因から香りがトイレの芳香剤として1970年代初頭から1990年代前半まで主流で使用されていたため、一部の年齢層にはトイレを連想することがあるかも知れません。

なお、キンモクセイは静岡県では県の、大阪市淀川区や豊中市をはじめとして多く自治体が市区町村の木として指定しています。

大阪鉄道病院には1階・5階いすれにもキンモクセイが植えられていますが、何処にあるかは花が咲けば香りですぐに分かっていただけだと思います。



## 病診連携による生涯教育 研修会開催

去る9月8日(土)、天王寺都ホテルにおいて、地区医師会(阿倍野、東住吉、平野)・大阪市医師会連合会及び大阪鉄道病院共催による「第39回病診連携による生涯教育研修会」が開催されました。

この研修会は、地域の医療機関の皆様を対象とした研修で、100名を超える方々の参加を頂きました。

当院の医師5名が最近の話題や出来事をテーマとした講演を行ったほか、特別講演として、大阪市在住でセルフポートレートで著名な美術家の森村泰昌氏から「医術も美術も、みな美学」というテーマでご講演いただきました。

今後も、地域の先生方との連携を深め、地域の皆様のお役に立てる病院を目指していきます。

### 第39回病診連携による生涯教育研修会プログラム

日 時: 平成24年9月8日(土) 14:00~  
場 所: 天王寺都ホテル

**第1部: トピックフォーラム** ..... 14:10~15:25  
座 長: 阿倍野区医師会 副会長 神田 毅  
大阪鉄道病院 医療情報部長 成山 仁

演 者: 1) 「肺癌のハイリスク群について」  
大阪鉄道病院 消化器内科 医長 石田 哲士  
(ATLL) について

大阪鉄道病院 血液内科 医長 高 起良

大阪鉄道病院 整形外科 医長 袴 史明

4) 「漿液性卵巣癌・腹膜癌の腫瘍発生は卵管上皮内癌を起源とする」

大阪鉄道病院 婦人科 医長 熊谷 広治

5) 「新しい肝癌診断装置(IVR・CT)導入について」  
大阪鉄道病院 消化器内科 副部長 森 敬弘  
放射線科 部長 大野 浩司

**第2部: 大阪鉄道病院の現状報告と全科代表挨拶** ..... 15:25~15:50  
現状報告: 大阪鉄道病院 副院長 北川 良裕  
挨拶進行: 大阪鉄道病院 診療部長 下出 賀運

**第3部: 特別講演** ..... 16:00~17:00  
司 会: 大阪鉄道病院 医務部長 清水 誠治  
「医術も美術も、みな美学」  
講 師: 森村 泰昌 美術家(「森村泰昌」芸術研究所)

